



主張を効果的に伝えるためには、主張を述べ
る箇所や、構成の型（頭括型、尾括型、双括型）、
主張を支える根拠や具体例の示し方など、自分の
話す内容の全体を見渡しながらか組み立てることが
大事です。



構成を工夫する

相手を説得するためにわかりやすく話すには、さまざま
な工夫が必要です。主張と根拠の関係に注意しながら、
構成や表現を工夫しましょう。



構成を工夫して主張をまとめる

話題

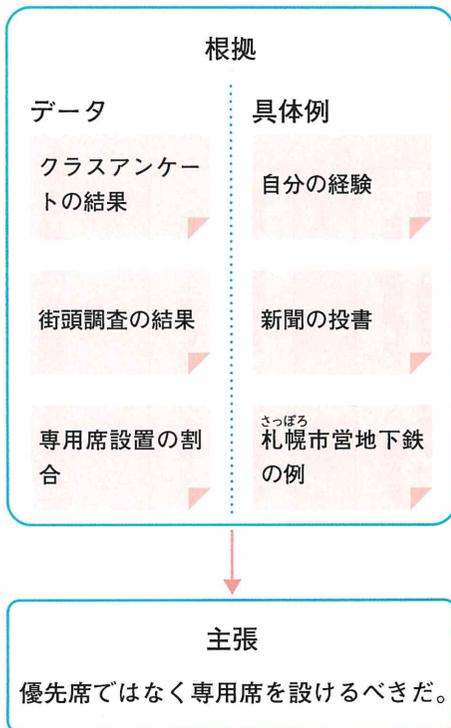
構成・考えの形成

表現・共有

目標

- 主張と根拠の関係について確かめながら、話す内容を検討する。
- 自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成、表現を工夫しながら話す。

■ 構成を工夫する方法 スピーチ「優先席の是非」



どの情報を取り上げて、どのように組み合わせれば説得力が高まるかを考える。



学習活動の流れ

話題

1

- ① 社会生活の中から、興味があるテーマや課題だと感じるテーマを選ぶ。
- ② 選んだテーマについて、自分自身の立場や主張を考えるために資料や事例を探す。

構成・考えの形成

2

- ① 自分の主張に説得力をもたせるように、全体の構成や論理展開を検討し、スピーチ原稿を作成する。
- ② どのようにしたら聞き手に納得してもらえるかを考える。
- ③ 言葉づかいや全体の構成に注意して、スピーチ原稿を推敲する。

表現・共有

3

- ① それぞれがスピーチをする。
- ② スピーチを聞いて、話の構成や表現について工夫されていたことを話し合う。



話の構成や表現を検討するポイント

自分の主張に説得力をもたせるには、聞き手のことを考えながら構成を検討することが大切だね。



主張と関連していて、聞き手が理解して納得できる根拠がいいね。



はじめ・中・終わりのどこで主張や根拠を述べるか、十分に考えることが大切だね。



聞き手の反応を見て、詳しく説明したり、言いかえたりできるようにしよう。



優先席の是非

はじめ

私が主張したいのは、優先席の代わりに専用席を設けるべきだ、ということとです。

確かに「優先」だと、座席を必要とする人がいないときには、誰でも利用することができません。しかし、座席を必要とする人がいるときに誰も席を譲らず、その人が座れない状況を、私はたびたび見たことがあります。「専用」とすることで、座席を必要とする人が確実に座ることができるようになります。

中

私がクラスのみんなにアンケートをとったところ、八割の人が専用席のほうが効果的だと思うという答えでした。そしてその理由として、(中略)

ところで、このような専用席を実際に取り入れている交通機関があることを知っていますか。知っている人が少ないようなので紹介しましょう。札幌市の市営地下鉄です。(中略)

終わり

いちばん大切なことは、専用席を設け、座席を必要としている人が座れるような環境を作ることです。そのことが、日常生活においても、周囲の人々への心くばりにつながっていくのだと私は思います。



言葉・情報

- ・確かに……(異なる考え)……です。しかし……(自分の考え)
- ・……を知っていますか。(聞き手の反応を確かめる表現)



学びを生かす

主張大会や演説などをするときに役立てよう。

① 主張を「はじめ」で示す頭括型の構成で、主張を明確にしている。

② 自分と異なる考えにもふれながら、自分の考えを述べている。

③ 身近なエピソードやアンケート調査の結果を提示して、聞き手に訴えている。

④ 聞き手に問いかけて、反応を見ながら話している。

振り返り

- 主張と根拠の関係を明確にして、話の内容をまとめているか。
- 相手や場の状況に応じた表現を工夫しながら話しているか。

